

令和3年度前期 情報検定

<実施 令和3年6月20日（日）>

2級

(説明時間 11:05~11:15)

(試験時間 11:15~12:15)

- ・試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・試験開始の合図の後、次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - * パソコン（電子メール専用機等を含む）、携帯電話（PHS）、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

＜受験上の注意＞

1. この試験問題は16ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。筆記用具が破損等により使用不能となった場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 試験後の合否結果（合否通知）、および合格者への「合格証・認定証」はすべて、Web認証で行います。
 - ①試験実施日の翌月より情報検定（J検）Webサイト合否検索ページ及びモバイル合否検索サイト上で、デジタル「合否通知」、デジタル「合格証・認定証」が交付されます。
 - ②団体宛には合否結果一覧ほか、試験結果資料一式を送付します。
 - ③合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題 1 次の企業活動に関する記述を読み、各設問に答えよ。

企業活動は利益を追求するだけでなく、消費者への適切な対応や環境への配慮、地域社会への貢献などを意識した活動をする が求められている。

企業活動を円滑に行うためには、法令や社会規範を順守する と呼ぶ取り組みが必要である。また、地域社会、顧客や取引先、従業員、株主などの から発せられる要求に対して適切な説明と積極的な情報開示することを と呼ぶ。

<設問 1> 記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

(1) ~ (4) の解答群

- ア. CSR(Corporate Social Responsibility)
- イ. EA(Environmental Accounting)
- ウ. コンプライアンス
- エ. ステークホルダ
- オ. ディスクロージャ
- カ. リスクマネジメント

<設問 2> 次の企業活動に関する記述に関係の深い字句を解答群から選べ。

(5) 企業活動の健全性を維持するため、経営が正しく行われているかを監視する仕組みのことである。これを強化する施策として社外取締役を登用する企業が増えている。

(6) 品質や価格の要件を満たすだけでなく、環境への配慮を積極的に行っていると評価される製品・サービスを、環境負荷の低減に務める事業者から優先して購入することである。

(7) 社内の業務システム開発において、常に公正かつ客観的に監査判断を行うため、監査法人からシステム監査人を採用し、監査を行うことである。

(5) ~ (7) の解答群

- ア. アカウンタビリティ
- イ. クロスライセンス
- ウ. グリーン調達
- エ. コーポレートガバナンス
- オ. シェアウェア
- カ. システム監査人の独立性

問題2 次のシステム化に関する説明を読み、各設問に答えよ。

システム化計画では情報システム戦略に基づいてシステム化構想およびシステム化基本方針を立案し開発スケジュールや概算のコスト、費用対効果などを検討するとともに、システムを導入した際に発生が予想されるリスクのリスクアセスメントなども行う。このような経過からシステムの全体像が明らかにされる。

例えば、システム化の費用には、次のようなものがある。

- ・ … 開発費や購入費などのシステム導入時にかかる費用
- ・ … 運用のための人件費や修理費といったシステムの導入後にかかる費用

システムの導入、維持、運用管理にかかるすべての費用を含む の観点から見積もることが重要である。

また、システムを構築する際には全て自社の経営資源で実施するとは限らない。システム開発に必要な各種資源をベンダ企業などの外部組織から入手することを調達と呼ぶ。調達をする場合、一般的に次のような手順で行われる。

- I. (a)RFI の作成・配布
- II. 選定基準の作成
- III. (b)RFP の作成・配布
- IV. ベンダ企業から提案書及び見積書の入手
- V. 提案内容の比較と評価
- VI. 調達先の選定
- VII. 契約締結

<設問1> 記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

(1) ~ (3) の解答群

- ア. TC0
- イ. 委託経費
- ウ. イニシャルコスト
- エ. 減価償却費
- オ. ランニングコスト

<設問2> 下線部 (a)RFI、(b)RFP の説明として、適切なものを解答群から選べ。

- (a)RFI …
- (b)RFP …

(4) , (5) の解答群

- ア. 供給者候補から調達者に対し、購入を希望する物品やサービスの仕様や数量を示し、購入する際の価格の提示を依頼するもの
- イ. 調達者から供給者候補に対して、システム化の目的や業務の概要を提示し、システム化にあたって採用可能な開発方法や情報技術動向などの情報の提供を依頼するもの
- ウ. 調達者から供給者候補に対して、導入を計画しているシステムの基本方針、概要、提案を求める事項、調達条件などを提示し、システム開発の提案書の提供を依頼するもの
- エ. 調達者から供給者に対して、契約内容で取り決めた内容に関して、変更を提案すること

<設問3> 次の IT サービスマネジメントに関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

システムの開発やシステムをビジネスに有効に活用するための運用や管理など、IT に関連した業務を IT サービスと呼び、IT サービスの品質を維持・改善するための一連の管理活動を IT サービスマネジメントと呼ぶ。

IT サービスを提供する際に、サービスを提供する側と受ける側でサービスの範囲やサービスレベルを定めた (6) を締結する。ここでのサービスとは、システムの稼働率や応答時間、サービスの提供時間帯など、サービス提供者が利用者に保証して内容のことである。 (6) を履行することにより、高い品質のサービスが維持できるようになる。

最近では、利用者からの多様な問合せについて、オペレータが対応する仕組みを、ソフトウェアによる自動対応で行う (7) も利用され始めている。利用者の過去の問い合わせの内容などを学習して、会話の流れから適切な回答を推測できる仕組みである。

また、緊急事態に遭遇した場合でも、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく、 (8) を計画することも大切である。

(6) ~ (8) の解答群

- ア. AR
- イ. BCP
- ウ. SLA
- エ. クローラ
- オ. チャットボット

問題3 次の配列操作に関する記述を読み、各設問に答えよ。

次の操作によりデータを1次元配列に格納する。

[データの格納手順]

- ① データは非負の整数であり同じ値のデータが複数存在することもある。また、格納する配列 t は要素数がデータの個数より大きく、初期値として -1 が全要素に格納済みとする。
- ② データの格納位置は、(a)余りを求める関数 mod を利用する。ここでは、「データ mod 10」により、データを10で割った余りを格納位置とする。
- ③ (b)データによっては同じ格納位置になることがある。同じ値のデータのうち先に発生したデータは②で求めた位置にそのまま格納し、後から発生したデータは配列 t の先頭から空き要素を探索し、最初に見つかった空き要素位置に格納する。

<設問1> データの格納に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

データを $32 \rightarrow 14 \rightarrow 40 \rightarrow 22 \rightarrow 33 \rightarrow 52$ の順に格納しようとする時、14は (1) に、22は (2) に、52は (3) に格納される。

(1) ~ (3) の解答群

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ア. $t(0)$ | イ. $t(1)$ | ウ. $t(2)$ |
| エ. $t(3)$ | オ. $t(4)$ | カ. $t(5)$ |

<設問2> データの削除に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

次の操作によりデータを削除する。

[データの削除手順]

- ① 格納時と同様に「データ mod 10」により、削除データが格納されている要素位置を決定する。
- ② ①の要素位置に削除データが見つければ、その要素位置に -1 を格納して終了する。その要素位置に格納されているデータが削除データと異なる場合、配列の先頭から削除データを探し、見つけた要素位置に -1 を格納して終了する。なお、同じ値のデータは複数存在することもあるが、その場合最初に見つけたデータ1個だけが削除される。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
配列 t	33	23	12	33	23	-1	-1	17	38	-1

図 配列 t の状態

図の状態から、次の①～③の順に削除と追加(データ格納)操作を実行する。

[データの操作]

- ① データ 23 を削除する場合、-1 が格納されるのは である。
- ② データ 33 を削除する場合、-1 が格納されるのは t(3) である。
- ③ データ 23 を追加する場合、データが格納されるのは である。

(4) , (5) の解答群

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ア. t(0) | イ. t(1) | ウ. t(2) |
| エ. t(3) | オ. t(4) | カ. t(5) |

<設問 3 > データの格納手順中の下線(a, b)に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

データ格納手順の下線部(a)「余りを求める関数 mod」のように、入力値に対して関数値を返すものにハッシュ関数がある。ハッシュ関数には という性質がある。また、データ格納手順の下線部(b)「データによっては同じ格納位置になる」ことを が発生するという。

(6) の解答群

- ア. 同じ入力値からは、同じ関数値が得られる。
- イ. 関数値から入力値を復元することができる。
- ウ. 入力値の桁数に応じて、関数値の桁数も変化する。

(7) の解答群

- | | | |
|---------|--------|---------------|
| ア. シノニム | イ. ヒープ | ウ. フラグメンテーション |
|---------|--------|---------------|

問題4 次のスポーツクラブの料金計算に関する記述を読み、各設問に答えよ。

あるスポーツクラブでは年中無休で営業しており、営業時間は10:00～24:00である。スポーツクラブでは、利用時間や利用曜日によって会員の月額利用料金が決まる。また、割引サービスもあり、条件によって適用される。以下がそれぞれの条件である。

[会員の基本利用について]

- ・会員の月額基本料金は5,000円とする。

[曜日とその追加料金について]

- ・曜日区分には、「平日」、「土日祝日」の2種類がある。
- ・「平日」の場合、平日のみの利用とし、基本料金を2,000円を追加する。
- ・「土日祝日」の場合、土日祝日のみの利用とし、追加料金はなしとする。

[利用時間と利用時間の追加料金について]

- ・利用時間は、10:00～18:00の「昼間」、18:00～24:00の「夜間」の2種類がある。
- ・「昼間」の場合、追加料金はなしとする。
- ・「夜間」の場合、追加料金を1,500円とする。

[割引について]

- ・割引には「家族割引」、「紹介割引」の2種類がある。
- ・「家族割引」の場合、家族会員全員を対象とし、割引額を1,000円とする。
- ・「紹介割引」の場合、割引額を500円とする。
- ・家族割引と紹介割引の併用はないものとする。

以上の条件から、スポーツクラブの月額利用料金を計算するため次のような決定表を作成した。

<設問1> 次のデシジョンテーブルの に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

表1 月額利用料金に関するデシジョンテーブル

平日	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	(1)	(2)	N	N	N	
昼間	Y	Y	Y	N	N	N	Y			N	N	N	
家族割引	Y	N	N	Y	N	N	Y			Y	N	N	
紹介割引	N	Y	N	N	Y	N	N			N	Y	N	
4,000円	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	-	
4,500円	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	-	
5,000円	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	-	
5,500円	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	-	-	
6,000円	X	-	(3)	(4)	-	-	-	-	-	-	X	-	
6,500円	-	X			-	-	-	-	-	-	-	-	X
7,000円	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-
7,500円	-	-			-	-	-	-	-	-	-	-	-
8,000円	-	-			X	-	-	-	-	-	-	-	-
8,500円	-	-			-	X	-	-	-	-	-	-	-

(1), (2) の解答群

ア.	<input type="text" value="N"/>	イ.	<input type="text" value="N"/>	ウ.	<input type="text" value="N"/>
	<input type="text" value="Y"/>		<input type="text" value="Y"/>		<input type="text" value="Y"/>
	<input type="text" value="Y"/>		<input type="text" value="N"/>		<input type="text" value="N"/>
	<input type="text" value="Y"/>		<input type="text" value="N"/>		<input type="text" value="Y"/>

(3), (4) の解答群

ア.	<input type="text" value="-"/>	イ.	<input type="text" value="-"/>	ウ.	<input type="text" value="-"/>
	<input type="text" value="-"/>		<input type="text" value="-"/>		<input type="text" value="-"/>
	<input type="text" value="X"/>		<input type="text" value="-"/>		<input type="text" value="-"/>
	<input type="text" value="-"/>		<input type="text" value="X"/>		<input type="text" value="-"/>
	<input type="text" value="-"/>		<input type="text" value="-"/>		<input type="text" value="X"/>
	<input type="text" value="-"/>		<input type="text" value="-"/>		<input type="text" value="-"/>

<設問 2 > 次の記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

スポーツクラブでは、すべての曜日、すべての時間で利用できるプレミアム会員を設定することにした。プレミアム会員の基本料金は 10,000 円とする。割引は従来通り家族割引と紹介割引を継続した場合、デシジョンテーブルに追加しなければならない列数は最低 (5) 列になる。

また、次のような新規会員が入会した場合に最低の月額利用料金は表 2 のようになる。

表 2 新規会員の月額利用料金例

新規会員の希望	利用料金
平日で夜間のみ使用したい。家族も入会済みである。	<input type="text"/> (6)
曜日に関係なく昼夜いつでも利用したい。家族は入会していないが、すでに会員である友人からの紹介である。	<input type="text"/> (7)

(5) の解答群

ア. 3 イ. 4 ウ. 12 エ. 24

(6) , (7) の解答群

ア. 4,500 円 イ. 7,500 円 ウ. 8,000 円 エ. 9,500 円

問題5 次のコンピュータの動作に関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータの性能を向上させる方法には様々なものがある。ソフトウェア的に性能を向上させる策やハードウェアそのものを高速にする技術などである。

<設問1> 次の命令実行サイクルに関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

CPU がプログラムを処理する単位を命令といい、演算命令を実行する場合は、次の①～③の手順を実行する。なお空欄は各操作の名称である。

[命令実行手順]

- ① □□(1)□□ : 制御装置が主記憶装置から命令を取り出す。
- ② □□(2)□□ : 取り込んだ命令の内容を制御装置が解読する。
- ③ □□(3)□□ : 論理演算回路などにより処理を行う。

(1) ~ (3) の解答群

- ア. エグゼキュート イ. コンパイル ウ. ディスパッチャ
- エ. デコード オ. フェッチ カ. メモリインタリーブ

<設問2> 次のクロック信号に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

各装置間の同期をとり、処理にずれが生じないように動作を制御する周期的な信号をクロック信号と呼ぶ。この信号の1秒間の周期数をクロック周波数と呼び、単位はヘルツ(Hz)が使われる。ここで、クロック周波数2GHz(2ギガヘルツ)のCPUの1周期(1クロック)の時間は□□(4)□□ナノ秒であり、1クロックの時間が0.25ナノ秒のCPUのクロック周波数は□□(5)□□GHzである。

ここで1命令の実行に必要なクロック数を平均5クロックとするとき、クロック周波数1GHz(1ギガヘルツ)のCPUでは1秒間に平均□□(6)□□命令実行できる。

(4) の解答群

- ア. 0.2 イ. 0.5 ウ. 2 エ. 5

(5) の解答群

- ア. 0.25 イ. 0.4 ウ. 2.5 エ. 4

(6) の解答群

- ア. 2×10^8 イ. 5×10^8 ウ. 2×10^9 エ. 5×10^9

問題6 次の無線LANに関する記述を読み、各設問に答えよ。

LAN からインターネットへ接続する場合は建物からインターネットプロバイダまで敷設された光ファイバなどを利用するが、LAN 内のコンピュータはケーブルや無線を用いて建物内のルータまで接続される。最近ではタブレットやスマートフォンでの利用が多くなり、Wi-Fi を用いた接続が多く見られる。Wi-Fi は無線 LAN の規格の一つであり、無線 LAN の規格では、(a)IEEE802.11 が定められている。

パソコンを Wi-Fi で接続してインターネットを利用するには、接続要求を受け付ける装置をパソコンが見つけないといけないが、この装置は一般的に(1)と呼ばれる。この装置の一覧はパソコンやスマホなどのデバイスで表示することができる。ここで表示されるものは(2)と呼ばれ、この中から利用可能なものを選択して接続する。

ただし、誰でも接続できてはセキュリティ上の問題がある。そこで、パスワードを用いて接続できる人を制限することができる。しかし、より安全性を高めるために、(b)特定のネットワーク機器からの接続だけしか受け付けないようにすることやデバイスで表示される(c)接続先の一覧に表示されないようにすることを行う。

また、無線は電波の届く範囲であれば盗聴される危険性がある。そこで盗聴されても意味を持たないような情報にするため(d)暗号化通信を行うようにしている。

<設問1> 記述中の()に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

(1) , (2) の解答群

- | | |
|----------|-------------|
| ア. ESSID | イ. PPPoE |
| ウ. VoIP | エ. アクセスポイント |
| オ. テザリング | カ. プロトコル |

<設問2> 次の記述の中で下線(a)に関して正しいものは「ア」、誤っているものは「イ」を答えよ。

- (3) 日本独自の仕様である
- (4) 多くの規格が存在する中で一部の規格を除き無線局としての免許は不要である
- (5) アクセス制御方式は CSMA/CA(Carrier Sense Multiple Access with Collision Avoidance : 衝突回避)方式を用いる

<設問 3 > 記述中の下線 (b) と関係の深い字句を解答群から選べ。

(6) の解答群

ア. IP アドレス

イ. LET 回線

ウ. MAC アドレスフィルタリング

エ. SIM ロック

<設問 4 > 記述中の下線 (c) と関係の深い字句を解答群から選べ。

(7) の解答群

ア. ステルス機能

イ. トンネリング

ウ. プロバイダ

エ. ローミング

<設問 5 > 記述中の下線 (d) と関係の深い字句を解答群から選べ。

(8) の解答群

ア. IP

イ. TCP

ウ. VOD

エ. WPA3

問題7 次の表計算ソフトの仕様を読み、各設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

CONCATENATE 関数

複数の文字列を結合して1つにまとめた文字列を返す。

書式：CONCATENATE(文字列1, 文字列2, …)

MONTH 関数

日付を表すシリアル値から月の値(1~12)を返す。

書式：MONTH(シリアル値)

RANK 関数

範囲内の数値を並べたときに何番目になるかを返す。順序は、降順の場合は0, 昇順の場合は1を設定する。

書式：RANK(数値, 範囲, 順序)

SUM 関数

範囲内の数値を合計した値を返す。

書式：SUM(範囲)

SUMIF 関数

指定した検索範囲の中で、条件に一致するセルの合計範囲に対応するセルの値の合計値を返す。

書式：SUMIF(検索範囲, 条件, 合計範囲)

式

=に続いて計算式や関数などを入力する。

セル番地の絶対参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地(絶対参照)を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより、別のワークシートを参照できる。

例：ワークシート名「集計」のセルA1を参照する場合は、「集計!A1」と記述する。

Jストアはテイクアウト専門のファストフード店を5店舗経営している。店舗で発生する販売情報はPOSシステムでクラウド上のデータベースに登録されているが、このデータをダウンロードして表計算ソフトに読み込み、1年間の販売数の分析をすることにした。

[販売数ワークシートについて]

	A	B	C	D
1	販売日	店舗コード	商品コード	販売数
2	YYYY/1/1	S01	P001	41
3	YYYY/1/1	S01	P002	20
4	YYYY/1/1	S01	P003	37
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
998	YYYY/12/31	S05	P008	23
999	YYYY/12/31	S05	P009	64
1000	YYYY/12/31	S05	P010	71

図1 「販売数」ワークシート

YYYY年における販売情報を販売日・店舗・商品ごとに集計したデータを「販売数」ワークシートの2～1000行に読み込んだ。店舗と商品はコードで入力されており、販売日、店舗コード、商品コードの昇順に並んでいる。

<設問1> 次の「商品別集計」ワークシートの作成に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図2のように年間の販売数を商品ごとに集計し、販売数の多い順に1から始まる順位をC列のランキングに表示する。なお、入力した商品コードに誤りはない。また、B列の販売数は3桁カンマ区切り表示にしている。

	A	B	C
1	商品コード	販売数	ランキング
2	P001	4,606	7
3	P002	5,073	5
4	P003	4,162	9
5	P004	3,872	10
6	P005	5,533	2
7	P006	4,626	6
8	P007	5,755	1
9	P008	5,353	4
10	P009	5,395	3
11	P010	4,561	8

図2 「商品別集計」ワークシート

- セルA1～C1のタイトル項目とセルA2～A11の商品コードを入力した。
- セルB2には、商品コードがP001であるデータの販売数の合計を表示するため、次の式を入力してセルB3～B11に複製した。
= (1)

- セル C2 には、B 列に集計された値の中で一番大きいものが 1 位になるような順位を求めるため次の式を入力し、セル C3～C11 に複写した。

=

(1) の解答群

- ア. SUMIF(販売数!\$C2:\$C1000, A2, 販売数!\$D2:\$D1000)
- イ. SUMIF(販売数!\$D2:\$D1000, A2, 販売数!\$C2:\$C1000)
- ウ. SUMIF(販売数!C\$2:C\$1000, A2, 販売数!D\$2:D\$1000)
- エ. SUMIF(販売数!D\$2:D\$1000, A2, 販売数!C\$2:C\$1000)

(2) の解答群

- ア. RANK(B2, \$B2:\$B11, 0)
- イ. RANK(B2, \$B2:\$B11, 1)
- ウ. RANK(B2, B\$2:B\$11, 0)
- エ. RANK(B2, B\$2:B\$11, 1)

<設問 2> 次の「販売数」ワークシートの変更に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

店舗別月別の集計をするため、図 3 のように店舗コードと月を文字列合成した検索キーを「販売数」ワークシートの E 列に設定する。

	A	B	C	D	E
1	販売日	店舗コード	商品コード	販売数	検索キー
2	YYYY/1/1	S01	P001	41	S011
3	YYYY/1/1	S01	P002	20	S011
4	YYYY/1/1	S01	P003	37	S011
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
998	YYYY/12/31	S05	P008	23	S0512
999	YYYY/12/31	S05	P009	64	S0512
1000	YYYY/12/31	S05	P010	71	S0512

図 3 変更した「販売数」ワークシート

- セル E2 には次の式を入力し、セル E3～E100 に複写した。

=

(3) の解答群

- ア. B2 + A2
- イ. B2 + MONTH(A2)
- ウ. CONCATENATE(B2, A2)
- エ. CONCATENATE(B2, MONTH(A2))

<設問3> 次の「月別店舗別集計」ワークシートの作成に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図4のように月ごと店舗ごとの販売数を集計する。なお、入力している店舗コードに誤りはない。また、B～G列には3桁カンマ区切り表示に、H列は小数以下1位までのパーセント表示にしている。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1		店舗コード						
2	月	S01	S02	S03	S04	S05	月計	前月比
3	1	1,165	595	654	1,076	872	4,362	---
4	2	1,057	641	802	574	890	3,964	-9.1%
5	3	713	723	1,078	882	758	4,154	4.8%
6	4	560	834	715	801	814	3,724	-10.4%
7	5	916	757	556	419	614	3,262	-12.4%
8	6	774	967	953	884	672	4,250	30.3%
9	7	756	800	967	1,332	862	4,717	11.0%
10	8	708	568	821	710	1,030	3,837	-18.7%
11	9	812	997	844	652	985	4,290	11.8%
12	10	865	1,124	906	597	670	4,162	-3.0%
13	11	855	942	835	953	627	4,212	1.2%
14	12	650	963	563	913	913	4,002	-5.0%

図4 月別店舗別集計ワークシート

- セル B1, A2~H2, A3~A14 にタイトル項目を入力した。
- セル B3 には、月ごと店舗ごとの販売数合計を求めるため次の式を入力し、セル C3~F3 および B4~F14 に複製した。
= (4)
- セル G3 には、月ごとの合計値を求めるため次の式を入力し、セル G4~G14 に複製した。
= (5)
- セル H3 には、G列に求めた合計値を前月と比較した割合をH列に表示するため次の式を入力し、セル H4~H14 まで複製した。なお、今月の比率は前月から増加した分を前月の値で割ることで求める。
= (6)

(4) の解答群

- ア. SUMIF(販売数!\$D\$2:\$D\$1000, CONCATENATE(\$B2, \$A3), 販売数!\$E\$2:\$E\$1000)
- イ. SUMIF(販売数!\$E\$2:\$E\$1000, CONCATENATE(B\$2, \$A3), 販売数!\$D\$2:\$D\$1000)
- ウ. SUMIF(販売数!D\$2:D\$1000, B\$2+\$A3, 販売数!E\$2:\$E\$1000)
- エ. SUMIF(販売数!E\$2:E\$1000, CONCATENATE(\$B\$2, \$A\$3), 販売数!D\$2:\$D\$1000)

(5) の解答群

ア. $\text{SUM}(B3:F3)$

イ. $\text{SUM}(B\$3:F\$3)$

ウ. $\text{SUMIF}(\text{販売数!D\$2:D\$1000}, A\$3, E\$2:E\$1000)$

エ. $\text{SUMIF}(\text{販売数!E\$2:E\$1000}, A\$3, D\$2:D\$1000)$

(6) の解答群

ア. $(G3 - G4) / G3$

イ. $(G4 - G3) / G3$

ウ. $G3 - G4 / G3$

エ. $G4 - G3 / G3$

<メモ欄>

